

(別紙2-1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23 年 3 月 14 日

【事業所概要 (事業所記入)】

事業所番号	4270700257		
法人名	社会福祉法人 白寿会		
事業所名	平戸荘グループホーム		
所在地	〒859-5361 長崎県平戸市紐差町450		
自己評価作成日	平成23年1月17日	評価結果市町受理日	平成23年3月22日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	http://ngs-kaigo-kohyo.pref.nagasaki.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=4270700257&SCD=320
--------------	---

【評価機関概要 (評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 医療・福祉ネットワークせいわ
所在地	〒840-0015 佐賀県佐賀市木原二丁目6番5号
訪問調査日	平成23年2月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

- * 料理は殆どを手作りして行事食（誕生会・運動会・花見・家族会・おせち料理）も仕出しではなく手作りしている。
- * 近くにある畑で利用者様と共に季節の野菜づくりや収穫などの作業をして頂いている。
- * EM菌で環境に配慮し掃除や洗濯に使用している。残飯はぼかしを使って堆肥とし野菜づくりに活かしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点 (評価機関記入)】

ホームは、四季の移り変わりを楽しめる自然豊かな山間の高台に建っています。同一法人内の高齢者施設と併設されており、常に協力が得られる体制が整っていると言えます。

そのような環境の中で、職員は利用者一人ひとりを尊重し、各々に合わせた対応に努められています。また、利用者の安全、安心な生活の確保に重きを置いて、日々の支援に従事されており、食事においても併設施設の管理栄養士により栄養面に配慮した献立が立てられています。

(別紙2-2)

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念はホール内と台所に掲げて、ミーティング前に唱和して全員周知できるようにしている	理念はホーム内に掲示されています。職員が常に意識できるように、併せてミーティングの際に周知に向けて唱和されています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所として地域の自治体に入り、清掃や会合に参加している	関連施設全体で、地域行事や催し等に積極的に参加されています。併設された施設間での交流も見受けられます。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	通所介護を通じて家族への支援方法を伝えている。地域の人々にまでは至っていない	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議で近況報告を行っている。出た意見は出来る事から取り組んでいる	2ヵ月に1度、運営推進会議は開催されています。近況報告が多いようですが、意見を取り入れ、出来る事から進めるようにされています。	サービス向上に向けて、参加者との積極的な意見交換が実現されることを期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議で情報は得ているが、連絡を密にとるまでできていない	主だった関わりとしては、運営推進会議における情報交換に留まっています。	市担当者との関係は、運営推進会議に留まらず、ホームや地域の問題点の共有や、その改善に向けた協働などを期待します。

6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人が身体拘束をしないと決めている。委員会があり、具体的な行為は拘束に当たらないか検討している	身体拘束をしないケアに、併設施設と共に取り組まれており、研修も行われています。入居者を一番に考えて対応に努められています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	職員が研修に参加して全体での報告会を行い、虐待について学ぶ機会を作っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護を利用している利用者がある。職員間での勉強会をしている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	口頭で説明して文書を交わして同意の下、記名捺印を頂いている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や電話で話を聞いている。ホール内に意見箱を設置している	1年に1回は家族会を開催されています。それ以外は電話や手紙等で連絡を取られています。又、家族の依頼に基づく外出にも取組まれています。（自宅訪問や墓参り等）	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度GH会議をして職員の見解を出すようにしている	ホーム内の会議のみならず併設施設合同の会議の場でも職員の見解が聴取され、運営への反映に向けて検討が行われています。	

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>就業規則、給与規定、その他の規定の中で出来る限りの環境条件の整備に努めている</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修委員会を中心に自施設の勉強会を開いている。外部の研修を受ける機会も増えている</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>近くの施設の職員と話す機会はあるが、事業所としては取り組んでいない</p>		
<p>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用開始前に家庭を訪問して本人を交えて要望を聞いている</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>利用開始前に家庭を訪問したり、申し込みに来られた時に話を聞いている</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ケアマネとの連携で情報を得ている</p>		

18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の中で起こる諸事に先輩としての知恵を頂き、料理や花、野菜づくりにも参加されている		
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族への手紙を開始して喜びの声が聞かれている。送り物が届いたら電話を掛けて話をしてもらっている		
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅や墓参り、教会等希望があれば職員付き添いで出かけている	入居者の希望に添った形で対応されています。馴染みの場所への外出や、知人の来訪等個人に合わせた対応が見られます。	
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の性格を考えた席次等配慮をしている。職員が仲介役となり間に入っている		
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院退所された方を見舞いに行っている。家族と会えば状態を尋ねている		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	担当者を中心として意向を聞くようにしている	利用者の生活歴を重視しながら、ケアにつなげられています。出来る事は自分でして頂けるようなケアに取り組まれています。	

24	<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ケアマネ・家族との情報を職員は見られるようにしている</p>		
25	<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>申し送りとミーティングで情報を引き継ぎ、申し送り帳にサインをしている</p>		
26	<p>10 ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ケアプランは本人と担当者を交えて行い、家族とは面会時や電話で意向を聞いている</p>	<p>ケアプランは、担当者とケアマネージャーだけでなく、職員全体の意見及び家族の意見を踏まえて作成されています。</p>	
27	<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日PCのケアノートに入力し索引を用いてモニタリング等に活用している</p>		
28	<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>併設の施設があり、行事や入浴等のサービスを利用している</p>		
29	<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の行事に出かけ、馴染みの方やボランティアの訪問もある</p>		

30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前からのかかりつけ医は本人や家族の希望で継続している</p>	<p>以前からのかかりつけ医を尊重されています。受診については、職員で対応され、医師との連携に努められています。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>利用者に変化があれば併設施設の看護職員に相談している</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院したら情報提供を行い、見舞いや洗濯物を取りに行ったり症状や退院の時期などの相談をしている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に重度化した場合や終末期の確認を頂いている。地域とのチームはできていない</p>	<p>看取りの実績はありませんが、看取りに関する研修には心のケアを含めて取り組まれています。</p>	<p>現時点でホームとして支援できることを明確にされ、利用開始時のみならず、段階的に家族との話し合いに取組まれることを期待します。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署の職員に来てもらい、全職員が1年に1度は救急救命の講習を受けている</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域の消防団と共に夜間避難訓練を行っている。机上学習、非常時の召集の訓練がある</p>	<p>避難訓練だけではなく研修にも熱心に取り組まれています。入居者の安全につながる施設整備も行われています。</p>	

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その人に応じた言葉掛けや、利用者間のトラブルには人格を損ねないように注意している	入居者一人ひとりに合わせた対応についての教育が行われています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者は各々の希望を出されている。言葉に出さない方には態度で接するように努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人の希望を取り入れながら業務優先にならないように臨機応変に対応している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一緒に買い物に行き自分で選んでいる。日頃の服は利用者と相談しながら着用している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	誕生会には本人の希望の献立を取り入れ、出来る準備や片付けは一緒に行っている	利用者の意向や状態に応じて、食事の準備、片付け等の協働が見られます。また行事食などにも対応されています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は管理栄養士が作成している。毎食の食事摂取量を記録して対応し、毎日の食事には希望も取り入れている		

42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>自力で出来る方は見守りながら行ってもらっている。うがいや口腔ケアにはお茶を使用している</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>体調に応じて日中と夜間のパットの使い分けをしている。排泄表にて排泄のパターンの把握をしている</p>	<p>利用者の体調等を考慮し、パットの使い分けが行われています。排泄チェックシートを活用しながら、個々に応じた対応に努められています。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分や食物繊維を多く摂ってもらうようにし、困難な時には排便コントロールで緩下剤を使用している</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴は毎日できるが、体調や希望で入っている。また入浴剤の使用で喜ばれている</p>	<p>毎日入浴可能とされており、入浴剤を使用する等、利用者の楽しみにつなげる工夫も見受けられます。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>コタツ、畳の間やソファ等で休息ができる。希望で居室に畳を敷いている</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬局からの薬の説明書をファイルして誰でも見られるようにしている。誤薬防止に2人で確認している</p>		

48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	裁縫や歌、料理等で得意を活かした役割をしている		
49	<p>18 ○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	玄関前の花見物や畑の野菜採り、買い物や散歩には付き添いで出かけている。地域の行事には出来るだけ参加している	玄関周りや近くの畑などへ出掛けたり、職員との買物や散歩も行われています。ふるさと訪問にも取組まれています。	
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	小遣いとして預かり、職員が管理しているが、外出や買い物など希望があれば本人と話して支払っている		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	本人の希望で掛けたり、家族からの電話は取次ぎをしている。家族への手紙を写真を添えて出している		
52	<p>19 ○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	四季折々の花や野菜等を飾って季節感を出し食事の時にはテレビを消して音楽を流している	共有空間には花などが飾られ、季節を感じられるよう配慮されています。コタツを利用し、入居者各々がマイペースで過ごせる空間も設けられています。	
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	畳の間にコタツがありソファや椅子等で思い思いに過ごされている		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の習慣や家族の希望で畳を敷いたり家具を持ち込んでいる	利用者の希望でフローリングから畳へ変更されたり、利用者が作られた手芸品や、馴染みの家具等が持ち込まれています。居心地のよい居室づくりに努められていることがうかがえます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室のドアに誕生月の花と氏名で目印をし、風呂場ののれんやトイレの掲示等でわかるようにしている		
V アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)			1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
		○	3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない